

## 労働災害ゼロを目指して

平成二六年度

兵庫森林管理署安全管理重点施策

安全目標

「労働災害ゼロの継続」

スローガン

「過去の教訓災害事例今に活かして  
ゼロ災職場」

当署は四月三十日現在、二二八四日無災害を  
継続しています。  
今年度も無災害継続に取り組みます。

### ■目標達成の重点施策

昨年度から追加強化項目



#### 一 健康安全協議会

計画的・効果的に開催し、機能の充実強化を図る。

#### 二 林道の走行

林道をやむなくバックで走行または方向転換する場合は、周囲の状況を確認するとともに、同乗者等誘導できるものがある場合は、必ずその者に誘導をさせ、走行方向、路肩等周囲の状況に充分注意すること。  
心の健康づくり対策

#### 三

林野庁共済組合の「林野庁電話健康相談」  
人事院による「心の健康相談室」等の相談窓口について職員周知を図る。

#### 四

蜂刺され対策

- ① 安全な場所への非難、経過観察、緊急連絡体制に基づく連絡を行う。
- ② アレルギー体質者が頸部等（もつとも危険）を刺された場合は、速やかに医師の手当を受けること。
- ③ 中程度のショック症状が現れたときは、自動注射器を適正に使用することを徹底する。

#### 五 ダニの刺咬（しこう）の予防

必要に応じてダニ忌避剤を携行し使用するダニにさされた場合は、ダニの一部が皮膚に残った場合や、頭痛、発熱等感染症の初期症状が現れた場合は、医師の手当てを受けることについて徹底すること。

#### ■ゼロ災職場とするためには、特効薬はなく

一日一日の「積み重ね、エンドレスの活動」

三つの取組みを徹底

- ① 安全作業の原点は初心に帰ること。  
（基本に忠実）
- ② 決められたことは守る。  
（基本動作を一つ一つ積み重ねる）
- ③ かもしれない行動・運転。  
（大丈夫だろうでなく↓滑るかもしれない）  
足元・周囲の環境を十分確認・把握

「災害は絶対に起こさない」という職員の決意  
が必要です。



この花なあに！

### 5月に多い病気・健康管理のポイント

#### ■通年性アレルギー

5月の連休明けにはスギ花粉の飛散も終わります。この時期でも症状が全く改善しない場合は、花粉症よりも通年性のアレルギーの可能性も疑った方がよいかもしれません。

#### ■黄砂アレルギー・目のトラブル

黄砂が飛散する地域では肌や目のトラブルに注意が必要です。特に、黄砂による角膜潰瘍。花粉と違って黄砂は固いため、目に入った状態で目を擦ると、角膜を傷つけることがあります

#### ■五月病（機能的胃腸症・過敏性腸症も含めて）

「五月病」は正式な病名ではありません。一時的な気持ちの落ち込みをどこまで五月病として考えるかは別として、多くの人が通勤や通学にストレスを感じ始める時期のようです。ストレスから、通勤時や大事な会議などの場面で突然トイレに行きたくなってしまいう機能的胃腸症や過敏性腸症になる人も増加します。

5月は風邪やインフルエンザの流行が過ぎ去り、暖かくなる季節。スギ、ヒノキなどの花粉症を始め、新生活が始まることでの五月病や、春の過眠など精神面でのトラブルや不安も抱えやすい時期です。

職員の皆さんそれぞれ自分にあつた健康法・健康管理を見つけ・続けて、健康で明るい職場づくりに努めましょう。